



会長挨拶

自己を磨き他に尽くさん

第24期会長 法山寺 副住職

北村 暁秀

第二十四期も早いもので二年目に入りました。引き続きスローガン「自己を磨き他に尽くさん」

を掲げて活動しております。他に尽くすなかで共に磨かれていく自己がある、すなわちすべての行持が「教化」に適っているかどうかを常に意識しながらの活動です。

○3・11慰霊行脚

あの日から五年の3月11日当日、昨年同様大川地区において震災でお亡くなりになった方々の供養のために慰霊行脚を修行。県内会員はもちろん全曹青や東北地協、遠方の単位曹青会など多くの方々の御随喜により本年も修行させていただくことが出来ました。

併せて「亡き方への手紙」をお焚き上げして、亡き方々への想いが届くようにと切なる願いを込めながら灰を太平洋へお流しました。

○祈りの道

教化センター40周年事業「祈りの道」に随喜加担させて頂きました。宮曹青としては延べ51名が5月8日の行程から、気仙沼清涼院様、相馬市慶徳寺さまの二箇所よりそれぞれ行脚に加わり、参加者各々被災各所で慰霊と復興への祈りを胸に、無事全行程を修行。前半は強風、後半は雨に見舞われながらも、最終日11日には石巻市・洞源院様に到着。28名が随喜し、東北の思いを一つに慰霊・復興祈願法要を修行することができました。

○宮城大会研修会「まごころに生きる」を学ぶ

講師 石巻市宮殿寺副住職 梅花流特派師範 永松隆賢老師

宮城大会の大テーマ「まごころに生きる」について、詠讃歌の歴史や歌詞、さらにはそれぞれにとってまごころに生きるとは？など様々な示唆に富んだ講義を賜りました。テーマについての学びを深め、会員一同がより一層大会円成に向けての意欲を高めました。

○第一回教化研修会「布教化の心構え」

講師 石巻市廣淵寺住職 特派布教師 奥野昭典老師
今、私たちが求められているもの、
今期特設された教化委員会通算3回目の企画、第1

部は布教実践に向けて告諭や法話の基礎を御教授賜り、第二部は布教化の疑問や問題について奥野老師と拙僧の対談形式で会場からの質問や実践事例に応答。時間内に応じきれないほどでしたが、それだけ会員各自が普段から真剣に布教化に臨まれているからこそであると感じました。

○傾聴行茶活動「佛一息(ほっとひといき)」

登米市南方仮設

南三陸町から避難なさっている方々の仮設団地。これまで何度もお邪魔し懇意にさせて頂いて参りましたが、近々解散されるため最後の活動となりました。ハード面(建物や街)での復興が進んだからこそなのでしょうが、一方でやっと培われたソフト面(心のつながり)はむしろ失われてしまう。形は変わっても寄り添い続けたいとの思いを新たに致しました。

○熊本地震支援托鉢

先の震災で最も犠牲者の多かった石巻。地元十三教区青年会様と共催で熊本地震支援の托鉢を修行。石巻駅前や街頭での募金を呼びかけたところ、地元の高校生が数え切れないほど思いを寄せてくれました。自分達のような苦しい思いをさせたくない、穏やかな日常を早く取り戻して欲しい、あの当時小学生だった子ども達からの慈悲の心。熊本県青年会様へお預け致しました。

○ソフトボール大会

震災後復活して3回目となるソフトボール大会には328名もの方々が参加、生憎の雨模様ではありましたが、共に汗を流す中で特別会員の方々とも親睦を深めさせて頂きました。それも偏に準備にあたった交流事業委員会諸師の陰ながらの尽力無くしては成し得ないものと自負しております。

○サンタピアアップみやぎボランティア会

▼「カンボジアスタディツアー」

宮曹青が主管するサンタピアアップ通算18校目となるポン・レイ小学校の現地贈呈式へ会員19名が参加。半数はカンボジアが初めての訪問、普段の活動が実際に実を結んだ校舎を目の当たりにし、現地の子ども達と

交流する中で今回のスタディツアーも多くの学びがありました。

また後日総会後行われた報告会では、臨場感に富んだ現地の生の映像をご覧頂き、参加の叶わなかった会員も一緒に、19校目建設への思いを深めました。

▼「アンコールワットへのみち 活動紹介パネル展示」

平成28年7月16日～9月19日多賀城市東北歴史博物館

サンタピアアップとして後援するこの催事に、活動紹介ブースを出展し来場者への広報活動を致しますので、是非ご来場下さい。7月18日・8月26日・9月16日には活動紹介講話のお時間も頂戴しました。詳細はサンタピアアップHPをご覧ください。

○ホームページ

インターネットの普及と共に開設された当会のHP。世の流れの中で公式な顔としてとても大切な役目を担っております。その充実振りが信用に繋がる一方で、誰でも閲覧できるため細心の注意を必要とします。これまでもそうでしたが、迅速かつ正確に行持の報告が可能なのは偏に広報編集委員会諸師がすべての行持に参加して写真をUPしてくださるなど陰ながらの地道な努力により成し得ております。これからも益々の充実を図って参りますので是非ホームページも御高覧ください。

○宮城大会

いよいよ11月9日の大会が近づいて参りました。早々に入場券が完売状態になってしまつたなど、ご関係の皆様には御迷惑や御心配をお掛けしておりますこと深くお詫び申し上げます。

しかしながら、それは慰霊鎮魂と復興祈願を掲げた大会への関心の高さの現われでもあり非常に有り難いことと感じております。今期宮曹青活動全てに通底するテーマ「教化」の体現であり集大成として鋭意準備を進めておりますので、今後とも皆様には益々のご理解とご協力ご法愛を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度 第1回教化研修会 報告

講師：曹洞宗特派布教師 石巻市廣瀨寺 住職 奥野 昭典 老師



平成二十八年六月九日 仙台市林香院様にて平成二十八年度「第1回教化研修会」が開催されました。講師には曹洞宗特派布教師・石巻市廣瀨寺住職 奥野昭典老師をお招きし、「布教化の心構え」私達に求められているもの」と題し、お話をいただきました。

第一部は曹洞宗管長の告諭の解説を段落ごとに説明していただき、布教化方針について「曹洞宗布教化規定」を参加者と共に読み上げながら、解説していただきました。また、法話をするときには、どんな法を説くのか、しっかりと筋を通し教えを明確にする、例話には遠い昔の話より新鮮で躍動的なもの、自分の実際の体験を使う等、法話原稿の作成方法について詳しく教えていただきました。最後に実際に体験された法話の例として、ダライラマ法王が石巻市に訪問された際のお話をいただきました。

第二部は布教化に関する会員の疑問、問題点のアンケート結果を下に奥野老師、北村師並びに参加者を交えた対談を行いました。

●北村「皆さんから事前に布教化活動についてのご意見をお寄せ頂き、様々なケースの疑問点等を確認させていただきました。早速ですが、お寄せいただいた意見の中から一つ、子供に対する法話についてどのように接して法話を展開していけば良いか、とのご質問がありました。子供坐禅会では騒がしいことが多いので聞いているのか不安なことがある、とのこと。」

●北村「さまざまな年齢によつて話し方も変わりますが、お子様方を相手にお話をすると、よくよく言い方を噛み砕かないと聞いてくれません。また、自分の中で法をしっかりと持っていないといけない。たとえば布団をたたむ行為での仏法は何か、きちんと捉えていないといけないと思います。」

●会員「直葬を望むご家族に送葬儀礼の意義を分かり易く伝える方法はありませんか。」

▼奥野「確かに直葬が増えていますね。儀礼の意味などはお檀家さんが知らないのはある意味では仕方ないと思えます。それにも増して大事なのはお檀家さんとの付き合い方ですね。うちの和尚さんにお葬儀をしてもらうて良かった。そう言ってもらえる和尚さんになれるかどうかだと思います。」



●北村「いろいろな儀礼に関しての書籍がありますので、研鑽をつむのが大事かと思えます。例えば四華花の説明を申し上げたりします。団子とか末期の水であったり二つ二つ意味があることをお話しします。そういうことを踏まえ、葬儀儀礼の大切さを伝えられるといいですね。さらに大事なことはお葬儀が終わってから、七日毎の供養などを通してお施主さん方との時間を増やすことです。」

●会員「弔辞などで、亡くなった方にかける言葉に『今度は元気で生まれ変わって云々』という輪廻転生のお話をされる方がおられます。曹洞宗としての見解を反映した上でのお話をしたいのですが、どのようにすればよろしいでしょうか。」

▼奥野「輪廻は仏教ですね。霊はどうでしょう。中有という解釈もあります。公式見解云々よりも前に、なぜそのような思いを持たれるのかを考えてあげることでしょう。そこを掘り下げたいですね。ただ寂しかったり、つらかったり、そこにあなたが寄り添えるかが重要だと思えます。」

●北村「直接のお答えにはならないと思いますが、震災後は石巻でも幽霊話が多くて相談を受けました。見える方には見えるのでしよう。実際に相談にいらした方にはそれによつて悩んでいる方がいらつしやいます。そのようなときは霊を祓うのではなく何回も一緒に読経したり、その場に赴いたり一緒に供養していくことが良いのではないかと考えています。」

●会員「終活をされている方には、身寄りがない方も多くいらつしやいます。そのような方は亡くなられた後、身寄りがな

いまま誰がお葬式を挙げて、誰が埋骨をするのかということまで考えの至っていない場合があります。おひとりさまという表現もありますがどのような見解をお持ちですか。」

▼奥野「おひとりさま専用のお葬儀や納骨もありますね。それぞれニーズがあるんですね。私は、終活の問題にはいません。生老病死を考えたり、不安を抱えたり、それだけ自分に向き合うわけですから。大事なのはどのように自分に向き合い悩む人々に対し如何に伝えていくかが僧侶の役目だと思っております。少子化の影響もあり、散骨をされたり、様々な事例が見ますよということですね。お寺としてはどのような形であれ最後まで見ますよということですね。菩提寺としてしっかりとついででも供養しますよ。そういうところがあつて良いのではないのでしょうか。立派なお葬式やお墓ではなくてもいいのだと思います。」

●北村「もつともつとお話をしたいのですが、お時間が来てしまいました。最後に奥野老師より一言お願いします。」

▼奥野「今日は県内の青年僧侶に布教に対しての疑問点、問題点を挙げて頂きました。今の青年僧侶がこれだけ真摯に僧侶として向き合っているのだなと、その姿が垣間見えて有り難い事でしたし、これからも期待出来ることだと感じました。私も青年会では大変お世話になり、先輩方には勉強させていただきました。皆さんも是非、同年代の方や先輩方に、私はこう思う、私はこのようなことで大変な思いをしているなど、意見をぶつけ合つて切磋琢磨してほしいと思います。祇園精舎の精の字は米どうしがぶつかり合い青くなり、そして本当の輝きの舎に成るといいますね。青年会の集まりはそういう良い場所なのだと思えます。そして、上手に話すことだけが法話ではないと常に思っています。時には聞くことも、時には大事だと考えています。また布教師資格も必要であると思えます。曹洞宗の布教をもつともつと勉強してほしいと思えます。それによつて日々自分がどのようにしなければいけないのか見えてくると思います。今日は本当にありがとうございました。」



東北管区教化センター40周年事業 「祈りの道」

5月6日から11日までの6日間に亘り開催されましたこの度の慰霊行脚では、宮曹青として5月8日の行程から加担させていただきました。気仙沼市・清涼院様と、相馬市・慶徳寺様の二箇所よりそれぞれ行脚に加わり、参加者各々被災各地で法要を営みながら慰霊と復興への祈りを胸に、無事全行程を終えることができました。前半は強風に見舞われ、後半は雨の中の行脚となりましたが、最終日11日には石巻市・洞源院様に到着し、東北管内全宗務所が思いを一つに慰霊・復興祈願法要を修行することができました。

◎行脚日程

5月8日	相馬市慶徳寺～亘理長徳寺	延べ15名参加
5月9日	亘理長徳寺～仙台昌林寺	延べ17名参加
5月10日	気仙沼清涼院～南三陸金秀寺	延べ15名参加
5月11日	南三陸金秀寺～石巻洞源院	延べ4名参加
全	復興祈願法要・慰霊法要	28名参加



熊本地震支援托鉢

熊本地震発生から2か月となる6月14日、石巻にて支援托鉢を十三教区青年会様と共催で会員18名で行いました。始めに永巖寺様本堂前にて諷経を挙げ、石巻駅前までを30分程行脚し、その後石巻駅前、役所周りに分かれ1時間ほど募金活動を行いました。

今回行脚したこの地は、東日本大震災で津波が押し寄せ、多くの方が犠牲になった場所でもあります。そのような場所で同じ日本の地で発生した熊本地震の募金活動を行い、熊本そして東日本大震災で亡くなられた方々の慰霊をできましたことは大変意義深いことと感じております。

街頭に立っていた時間帯は学校帰りの高校生が行き交っていましたが、その学生さんたちの多くが募金してくださったことが印象的でした。

今回募金をいただいた方々に深く感謝すると共に、熊本、東北宮城の復興を心より祈念いたします。

【募金総額】 88,253円 (全額熊本県曹洞宗青年会様へ寄付)



平成27年度 事業報告 (関連事業も含む)

●宮城県曹洞宗青年会

月 日	事 項	場 所	備 考 1	備 考 2
平成27年				
4月6日	監査会	福聚院(仙台市)		
4月9日	役員会①理事会①	福聚院(仙台市)		
4月24日	定例総会	ホテルニュー水戸屋(仙台市)		71名出席
//	合同委員会	//		69名出席
5月14日	宮城大会準備委員会①発足	道安寺(利府町)		
5月28日	ソフトボール大会	富谷町総合運動公園		288名参加
6月8日	役員会②理事会②	道安寺(利府町)		
//	宮城大会準備委員会②	//		
6月23日	傾聴行茶活動「仏 一息」	南方仮設(登米市)	26名参加(県婦人会9名参加)	
7月12日	サンタピアアップみやぎボランティア会定例総会	国分尼寺(仙台市)		32名参加
7月14日	宮城大会準備委員会③	道安寺(利府町)		
7月21日	第1回研修会	林香院(仙台市)		57名出席
8月3日	会報「無聖」71号発行	福聚院(仙台市)		
8月15日	終戦70年行持「平和祈念の鐘」			県内御寺院
8月31日	戦後70年平和祈念法要並びに慰霊法要	松島大観荘		66名参加
9月14日	関東東北豪雨臨時役員会	道安寺(利府町)		
9月17日	真昌寺土砂撤去作業	真昌寺(大崎市)		10名参加
//	茨城・栃木豪雨見舞い及び視察			4名参加
9月28日	栃木曹青豪雨見舞い来県			
10月1日	カンボジア教育支援チャリティバザー	中新田体育館	来場者450名	前日準備併せて188名出席
10月15日	役員会③理事会③	道安寺(利府町)		
10月20日	茨城県常総市復興支援活動(傾聴活動)	茨城県常総市		3名参加
10月26日	「宮城大会」前川老師拝請	大本山 總持寺	会長・研修委員長・研修副委員長・事務局長	
//	宮城大会運営委員会①発足	//		
11月11日	傾聴行茶活動「仏 一息」	役場前・大森仮設(石巻市)		21名参加(他12名参加)
11月26日	第2回研修会	林香院(仙台市)		47名出席
12月7～9日	カンボジアフェア	SELVA(仙台市)		延べ49名出席
12月10日	役員会④理事会④	道安寺(利府町)		
//	宮城大会運営委員会②	//		
12月13日	第1回教化研修会	ホテルニュー水戸屋(仙台市)		45名出席
//	臨時総会	//		46名出席
//	忘年会	//		32名参加
平成28年				
2月2日	会員大会 第1部 第2回教化研修会	ホテルグランテラス仙台国分町	正・特別会員	85名出席
//	会員大会 第2部 ボーリング大会	ポウルサンシャイン	正・特別会員	96名出席
//	会員大会 第3部 懇親会	ホテルグランテラス仙台国分町	正・特別会員	100名出席
2月9日	宮城大会運営委員会③	道安寺(利府町)		
2月16～18日	宮崎曹青震災孤児支援来県			
2月21日	江川禪師拝請「宮城大会」	大本山 總持寺	管区長・統監・会長・副会長・事務局長 計7名	
2月24日	傾聴行茶活動「仏 一息」	山王公園野球場仮設(多賀城市)		15名参加
2月26～27日	ハガキリサイクルキャンペーン	多福院(石巻市)		延べ33名出席
3月11日	慰霊行脚(大川地区・雄勝地区・北上地区)		県内外青年会	61名参加
3月23日	役員会⑤理事会⑤	道安寺(利府町)		
//	宮城大会運営委員会④	//		
3月28日～4月1日	カンボジア小学校贈呈式	カンボジア		19名参加
3月31日	会報「無聖」72号発行	福聚院(仙台市)		

※この他「三役会」「役員打合せ」を随時開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会 (地協)

平成27年				
4月2日	常任幹事会・定例幹事会	仙台国際ホテル		5名参加
11月4日	東北地方集會「岩手大会」	メトロポリタン盛岡		22名参加

●全国曹洞宗青年会 (全曹青)

平成27年				
5月11日	全国曹洞宗青年会 中央研修会	東京グランドホテル(宗務庁)		2名参加
5月12日	全国曹洞宗青年会 定期総会	東京グランドホテル(宗務庁)		17名出席
10月18日	禪文化学林「精進料理フェスタ」	大本山 總持寺		8名参加
11月27日	災害復興支援部研修会	築地本願寺		北村会長・事務局長
	全国曹洞宗青年会 臨時評議員会	//		

●全日本仏教青年会 (全日仏青)

5月26日	花まつり千僧法要	奈良 東大寺		7名参加
-------	----------	--------	--	------

平成27年度 宮城県曹洞宗青年会収支決算報告

●収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
I 会費収入	2,970,000	3,125,000	155,000	
1.正会員	1,590,000	1,760,000	170,000	10,000円×176名
2.賛助会員	650,000	685,000	35,000	5,000円×137名
3.特別会員	730,000	680,000	▲ 50,000	10,000円×68団体
II 助成金	250,000	250,000	0	宗務所より
III 雑収入	6,508	103,450	96,942	祝賀添葉 前年度無聖送料残金 利息
IV 繰越金	1,383,492	1,383,492	0	
合計	4,610,000	4,861,942	251,942	

●支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
I 会議費	210,000	220,520	10,520	
1. 総会費	50,000	97,520	47,520	定例総会・臨時総会
2. 理事会費	25,000	25,000	0	会場費
3. 役員会費	35,000	25,000	▲ 10,000	会場費
4. 委員会費	100,000	73,000	▲ 27,000	5委員会・事務局会開催費
II 事務費	1,250,000	1,032,949	▲ 217,051	
1. 消耗品費	100,000	58,902	▲ 41,098	事務用品、用紙代等
2. 通信費	600,000	510,716	▲ 89,284	郵送料、振込手数料、電話料
3. 印刷費	150,000	131,490	▲ 18,510	封筒印刷、プリンタインク代補助等
4. 備品費	150,000	125,921	▲ 24,079	事務機使用料
5. 慶弔費	50,000	5,920	▲ 44,080	慶弔電報等
6. 事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III 事業費	2,300,000	2,109,947	▲ 190,053	
1. 研修委員会	300,000	293,150	▲ 6,850	研修会×2回
2. ボランティア委員会	250,000	214,465	▲ 35,535	チャリティーバザー
3. 広報編集委員会	650,000	547,642	▲ 102,358	『無聖』71号72号発行 HP管理費等
4. 交流事業委員会	200,000	190,000	▲ 10,000	ソフトボール大会、会員大会
5. 教化費	200,000	153,490	▲ 46,510	研修会×2回
6. 事業諸費	250,000	290,000	40,000	旅費補助（全曹青・地協参加者・千僧法要）總持寺拝請補助
7. 会員名簿作成費	450,000	421,200	▲ 28,800	
IV 負担金	215,000	225,000	10,000	全曹青・地協会費
V 予備費	435,000	0	▲ 435,000	
VI 雑費	150,000	164,457	14,457	渉外活動費、各会議茶菓等
VII 繰出金	50,000	50,000	0	
ボランティア基金	50,000	50,000	0	
特別事業準備金	0	0	0	
復興支援活動金	0	0	0	
合計	4,610,000	3,802,873	▲ 807,127	

■特別会計決算書

ボランティア基金	697,678円
特別事業準備金	703,006円
復興支援活動金	728,635円

総収入	4,861,942円
総支出	3,802,873円
差引	1,059,069円

平成27年度の決算書を上記の通り提出致します。

平成28年4月6日 会長 北村 暁秀 印

監査報告 平成28年4月6日、3教区道安寺様において監査を行い

平成27年度一般会計並びに特別会計が適正に執行され、正確であることを確認いたしました。

監事 鈴木 俊龍 印

監事 二階堂 法淳 印

監事 眞山 隆宏 印

平成28年度 事業計画

●宮城県曹洞宗青年会

月 日	事 項	場 所	備 考
平成28年			
4月6日	監査会	事務局	
4月11日	理事会① 宮城大会運営委員会⑤	事務局	宮城大会関係
4月19日	定例総会・宮城大会研修会	ホテルニュー水戸屋（仙台市）	
5月6～11日	教化センター40周年事業「祈りの道」	宮城・福島・岩手	
6月9日	第1回教化研修会	林香院（仙台市）	
6月21日	理事会② 宮城大会運営委員会⑥	事務局	宮城大会関係
7月3日	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	国分尼寺	サンタピアップ関係
7月6日	ソフトボール大会	富谷町総合運動公園	
7月下旬	宮城大会実行委員会①発足	事務局	宮城大会関係
8月上旬	「無聖」73号発行		
9月6日	カンボジア教育支援チャリティバザー	とよま蔵ジウム（登米町）	前日5日搬入
9月13日	梅花県奉詠大会	仙台市体育館	サンタピアップ関係
9月28日(予定)	第1回研修会	未定	
10月上旬	理事会③	事務局	
11月9日	東北地協40周年・宮曹青45周年 東北地方集会「宮城大会」	仙台サンプラザ	
12月上旬	理事会④	事務局	
12月中旬	年次総会・忘年会	未定	
12月	カンボジアフェア	未定	サンタピアップ関係
平成29年			
1月下旬	会員大会・サンタピアップ講演会	未定	
2月中旬	ハガキリサイクルキャンペーン	未定	サンタピアップ関係
2月	移動研修会	未定	
3月中旬	理事会⑤	事務局	
3月下旬	「無聖」74号発行		

※復興関連事業は被災地の事情等を考慮し適宜開催
 ※宮城大会準備委員会・実行委員会は適宜開催
 ※役員会・各委員会・事務局会は適宜開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会（地協）

平成28年			
4月5日	常任幹事会・定例幹事会	ホテルグランテラス仙台区分町	

●全国曹洞宗青年会（全曹青）

平成28年			
5月17日	全国曹洞宗青年会 中央研修会	東京グランドホテル（宗務庁）	

平成28年度宮城県曹洞宗青年会予算書

●収入の部

単位：円

項目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
I 会費収入	3,135,000	2,970,000	165,000	
1. 正会員	1,690,000	1,590,000	100,000	10,000円×169名
2. 賛助会員	685,000	650,000	35,000	5,000円×137名
3. 特別会員	760,000	730,000	30,000	10,000円×76団体
II 助成金	250,000	250,000	0	宗務所より
III 雑収入	5,931	6,508	▲ 577	祝賀添菜 利息 等
IV 繰越金	1,059,069	1,383,492	▲ 324,423	前年度より
合計	4,450,000	4,610,000	▲ 160,000	

●支出の部

単位：円

項目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
I 会議費	260,000	210,000	50,000	
1. 総会費	100,000	50,000	50,000	定例総会・年次総会
2. 理事会費	25,000	25,000	0	会場費
3. 役員会費	35,000	35,000	0	会場費
4. 委員会費	100,000	100,000	0	5委員会・事務局会開催費
II 事務費	1,250,000	1,250,000	0	
1. 消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品、用紙代等
2. 通信費	600,000	600,000	0	郵送料、振込手数料、電話料
3. 印刷費	150,000	150,000	0	封筒印刷、プリンタインク代補助等
4. 備品費	150,000	150,000	0	事務機使用料
5. 慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔電報等
6. 事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III 事業費	1,700,000	2,300,000	▲ 600,000	
1. 研修委員会	300,000	300,000	0	研修会×1回・移動研修会
2. ボランティア委員会	250,000	250,000	0	チャリティバザー
3. 広報編集委員会	600,000	650,000	▲ 50,000	『無聖』73・74号発行 HP管理費等
4. 交流事業委員会	200,000	200,000	0	ソフトボール大会・会員大会
5. 教化委員会(教化費)	100,000	200,000	▲ 100,000	研修会×1回
6. 事業諸費	250,000	250,000	0	旅費補助等(全曹青・千僧法要・拜請等)
7. 会員名簿作成費	0	450,000	▲ 450,000	第24期会員名簿作成
IV 負担金	225,000	215,000	10,000	全曹青・地協会費
VI 予備費	415,000	435,000	▲ 20,000	
VII 雑費	150,000	150,000	0	渉外活動費、各会議茶菓等
VIII 繰出金	450,000	50,000	400,000	
ボランティア基金	200,000	50,000	150,000	
特別事業準備金	0	0	0	
復興支援活動金	50,000	0	50,000	
宮城大会準備金	200,000		200,000	
合計	4,450,000	4,610,000	▲ 160,000	

■特別会計予算書

ボランティア基金	897,687円
特別事業準備金	203,006円
復興支援活動金	278,635円
宮城大会準備金(新設)	4,500,000円

総収入	4,450,000円
総支出	4,450,000円
差引	0円

平成28年度の一般会計並びに特別会計予算書を上記の通り提出致します。

平成28年4月19日 会長 北村 暁秀 ㊞

平成二十八年年度ソフトボール大会

去る平成二十八年七月六日(水)富谷町総合運動公園グラウンドを会場に「宮城県曹洞宗事務所 宮曹青共催平成二十八年年度ソフトボール大会」が開催されました。

今大会はあいにくの雨模様となりましたが、過去最多の三二八名のご参加を頂きました。

開会にあたり、宗務所所長小野崎秀通老師、宮曹青会長北村晁秀師よりそれぞれ開催にあたる今大会への想いや意気込み等を込めたご挨拶を頂戴いたしました。

選手宣誓では澤田孝之氏(ベルコチーム)が務められ、今大会を通して我々が「丸となり、正々堂々戦つこと」を誓われました。

試合は全二十チームが四グラウンドに分かれ予選リーグを行い、それぞれ上位二チーム、計八チームによる決勝トーナメントが行われるはずでしたが、途中で雨脚がはげしくなりグラウンドに水たまりができ試合続行不可能との判断から途中ではご中止となりましたが中止となりました。

とても残念な結果になってしまいましたが、試合中は皆、気迫溢れるプレーで試合に挑み、声を出し、各々親睦を深めている様子でした。

当日は一日中冷たい雨が降り続いておりましたが、交流事業委員会・事務局が早朝よりグラウンド整備や設営準備を行っていただいたおかげで開催する事ができました。参加された皆様、運営スタッフの皆様本当にお疲れさまでした。



▶選手宣誓を行う澤田孝之氏(ベルコチーム)



傾聴行茶活動「仏二息」活動報告

平成二十八年五月二十六日(水)に今年度第 10 回目の傾聴行茶活動「仏二息」を登米市南方仮設住宅にて行いました。

「仏二息」開始以来何度も伺っている仮設住宅なので顔なじみの住人の方も多く、私たちを温かく迎えてくださいました。仮設から移られる方が増え、昨年より来場者数が減ることも予想しておりましたが、これまでと変わらない50名近くの方に来場いただきました。こちらも青年会員に加え、県婦人会様からも11名の参加をいただき、総勢30名で訪問させていただきました。

今回は県婦人会様の企画で畳の一部を使用したコースター作り、新聞広告を使用した紙箱作りを行いました。婦人会様の念入りな準備と当日のご指導のおかげで、皆さん素敵な作品を作りあげることができました。お昼には長尾研修副委員長中心に14教区青年会様に炊き出しをしていただきました。当日は暑い日でしたが、その気候も考慮し冷たいうどんといなりという献立で、こちらも皆さんに美味しいと言ってもらえました。食後には民謡がお得意な婦人会の方に歌を披露していただきました。地元民謡「おいと節」では仮設にお住いのご婦人がそれに合わせて踊りを披露されました。この日一番盛り上がった瞬間でした。最後に会長より、静岡のお菓子メーカーさんが石巻の子供たちの描いた絵をあしらった作った「チョコレート」をお配りし終了となりました。

今年度中にほとんどの方が公営住宅等に移られる予定で、自治会長さんは「今回がお別れ会だね」とおっしゃっておられました。住人の皆さんの中には、新しい住宅に引っ越し「こ」で築いたコミュニティが崩れてしまうことを危惧する方や様々な不安を抱えている方が多くいらっしゃいます。その中でも今仮設に残っていらっしゃる方の中の合言葉は「元気に故郷の志津川へ帰ろう」だそうです。今回の「仏二息」がその元気になる一助となってくれていければ良いなと思っております。

ボランティア委員長 千田祥幹



教化活動



長尾 靖樹師 紹介
 登米市南方町 宗恵寺副住職

未曾有の東日本大震災から5年が経過いたしました。私自身、ボランティア委員の経験もあり、常々何かお役に立てることはないかと考えておりましたところ、各仮設住宅での炊き出しの依頼をいただきました。

初回の頃から比べると仮設住宅を出られた方々もいらっしやいます。今も多くの方々が不自由な生活を余儀なくされておられます。仮設住宅では元々あったご近所や地域のコミュニティがなくなり、新たに作りなればなりません。同じ辛い経験をされているからとはいえ、顔見知りでない方々を「食」を通じて会話作り、話題作りのお手伝いが出来ればと思ってお受けいたしました。

限られた予算の中ではありますが、寒い時期には温かいものを、暑い時期には冷たいものをと季節を感じていただきたいと思ひ、同じうどんでも具を変えたり、温かいもの、冷たいものを提供させていただきました。

また、夏には流しそうめんを行ったり、登米市の郷土料理の「はっと」を参加者全員で作り、参加型の炊き出しも実施いたしました。

6月に訪れた仮設住宅ではご飯を終えた後、参加者全員が笑顔でカラオケを歌ったり、手を叩いて楽しんでいらっしやいました。心の傷を治すことは私達には到底できませんが、5年という月日の流れと心の傷を一時でも癒すことが出来たのではないかと感じられた出来事でした。

「おいしかったよ」とお声を掛けていただき、毎回胸が熱くなり私自身救われる思いがいたします。仮設住宅での炊き出しではいろいろな方々と触れ合い、いろいろな「食」の在り方があると痛感し、勉強させていただいております。これからも被災地の一日も早い復興と心の傷が少しでも癒えるお手伝いをしていければと思ひます。



▲□□□□□□□□■□□□□□□□□■



▲□□□□□□□□■□□□□□□□□■



▲□□□□□□□□■□□□□□□□□■

宮曹青主管 カンボジア教育支援活動

サンタピアップみやぎ ボランティア会

平成二十八年年度「定例総会」報告

去る七月三日(日)、仙台市国分尼寺様を会場に二十九名出席のもと「平成二十八年年度定例総会」・「カンボジアスタディツアー報告会」が開催されました。

本年度の事業としては、これまでの書き損じハガキと切手の収集、古本リサイクル事業などのほか、オリジナルカレンダーの販売などを展開してまいります。

平成二十七年年度のご報告

◆学校建設事業

(対象校：カンボジア王国バンティミンチエイ州ポン・レイ小学校)

1棟3教室新校舎・祠・トイレ・文房具・スポーツ用品の贈呈

◆ご提供頂いた書き損じハガキの枚数	20,378枚
◆交換ハガキ売上金	1,019,200円
◆古本・CD等のリサイクル支援	6,849円
◆寄付金総額	2,276,957円



ポン・レイ小学校

特別展

『アンコールワットへのみち』

この度、東北歴史博物館(多賀城市)にてアンコールワットへのみちが開催されます。サンタピアップも後援としてブースの設置「パネル展示、活動紹介」をさせて頂くことになりました。

是非、皆様お誘い合わせの上ご来場下さい。

日 時 七月十六日(土)～九月十九日(月)

開館時間 午前九時三十分～午後五時まで

休館日 毎週月曜日(ただし七月十八日、九月十九日は開館)

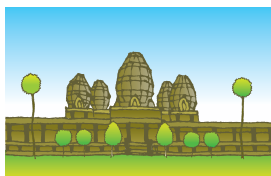
場 所

東北歴史博物館
三陸道多賀城ICから
車で五分

特別講演会

七月十八日・八月二十六日・九月十六日

(①午前十一時～ ②午後一時三十分～)



書き損じハガキ・切手の送り先

〒九八六・二二九九 石巻市渡波町一・八・一
渡波郵便局留「サンタピアップ」宛

寄付金の送り先

【郵便振替 口座名義】

サンタピアップみやぎボランティア会

【口座番号】02290-6-48744

「古本・CDリサイクル」による支援

大切にした本をもう一度役立たせたい…

是非私たちにお譲り下さい!!

●皆様のご家庭にある、漫画や文庫本・CD・DVD・ゲームソフト等の買い取りを『BOOKOFF(ブックオフ)』の宅本便(無料集荷)を利用し、インターネット上で依頼してご提供頂きます。

●ご提供商品の集荷をご依頼する際、商品の買い取り額の入金先口座を当会の口座に指定することで、当会への寄付(支援)金となります。

●ご提供下さった方には、後日お礼状と領収証を発送させて頂きまますので、お手数ですが当会事務局宛まで電子メール、又はお電話にてご提供者さまの発送情報をお知らせ下さい。

◎ご提供下さいます方は、インターネットで「ブックオフ宅本便」で検索・ご依頼下さい。

指定口座「ゆうちょ銀行」

【記号】18110 【口座番号】05490731

【名義】サンタピアップみやぎボランティア会

ホームページ

スタディツアーの様子などの動画もご覧いただけますのでご覧下さい。

URL: <http://www.santapi.com/>

サンタピアップ事務局

〒九八六・〇〇一五

石巻市吉野町一・四・九多福院内

TEL/FAX: 0225-98-4482 (専用)

E-mail: info@santapi.com

宮曹青正会員 卒業の方々

・第1教区 大満寺住職 西山 円明
 ・第1教区 善徳寺住職 中澤 慧乗
 ・第2教区 龍泉院住職 浅沼 良智
 ・第2教区 玄光庵住職 伊申 光仙
 ・第5教区 徳成寺住職 大川原啓介
 ・第6教区 溪水寺住職 穴戸 隆明
 ・第7教区 糟川寺住職 三田村仁道
 ・第8教区 龍川寺住職 大友 康弘
 ・第9教区 西光寺住職 木村 好古
 ・第9教区 法圓寺副住 高橋 宣秀
 ・第9教区 桂雲寺住職 花山 智成
 ・第9教区 三古寺住職 岸 賢裕
 ・第10教区 東光寺副住 宮本 瑛二
 ・第10教区 玄松院住職 三浦 正和
 ・第11教区 願成寺住職 大枝 徳権
 ・第16教区 西光寺副住 中澤 明彦
 ・第17教区 光明寺住職 伊藤 大輝
 ・第17教区 雙林寺住職 本間 英純
 ・第18教区 安養寺副住 小野寺拓仙
 ・第18教区 官庭寺住職 及川 靖丈
 ・第18教区 喜泉院住職 佐藤 大輝
 ・第19教区 海蔵寺住職 石龍 義道

平成28年度正会員新入会員

・第1教区 皎林寺住職 石龍 文啓
 ・第1教区 善徳寺住職 中澤 慧乗
 ・第2教区 龍泉院住職 浅沼 良智
 ・第2教区 玄光庵住職 伊申 光仙
 ・第5教区 徳成寺住職 大川原啓介
 ・第6教区 溪水寺住職 穴戸 隆明
 ・第7教区 糟川寺住職 三田村仁道
 ・第8教区 龍川寺住職 大友 康弘
 ・第9教区 西光寺住職 木村 好古
 ・第9教区 法圓寺副住 高橋 宣秀
 ・第9教区 桂雲寺住職 花山 智成
 ・第9教区 三古寺住職 岸 賢裕
 ・第10教区 東光寺副住 宮本 瑛二
 ・第10教区 玄松院住職 三浦 正和
 ・第11教区 願成寺住職 大枝 徳権
 ・第16教区 西光寺副住 中澤 明彦
 ・第17教区 光明寺住職 伊藤 大輝
 ・第17教区 雙林寺住職 本間 英純
 ・第18教区 安養寺副住 小野寺拓仙
 ・第18教区 官庭寺住職 及川 靖丈
 ・第18教区 喜泉院住職 佐藤 大輝
 ・第19教区 海蔵寺住職 石龍 義道

宮城大会研修会

去る四月十九日(火)秋保温泉ホテルニュー水戸屋に会場に宮城大会のサブテーマでもあります「まごころに生きる」を学ぶ」という演題にて研修会を開催致しました。講師は当青年会の先輩でもある梅花流特派師範で、石巻「宮殿寺」副住職永松隆賢師に努めていただきました。

当日は、師範会の方々もご参加頂き、梅花流の成立ちや当時の時代背景・他の宗教団体との比較について等を科学雑誌も交え、様々な角度からお話し頂きました。

また、禅とは何か?として不立文字・教外別伝が大切だということと「まごころ」とは菩提心、というところから、「まごころに生きる」の歌詞を深く掘り下げ、修証義(四大綱領)などの解説も頂きました。

事務局だより

宮城県曹洞宗青年会 平成二十八年度定例総会が、去る四月十九日(火)午後四時より秋保温泉ホテルニュー水戸屋様に於いて、正会員54名(委任状54通)出席のもと開催されました。議長には第十三教区本多賢浩師が選出され、次の議案について審議が進められ、全て承認されました。終わりに副会長坂本顕一師の閉会宣言をもって無事に終了いたしました。

事務局長 記



審議事項

- ①平成二十七年東日本大震災復興支援活動報告並びに決算報告
- ②平成二十七年事業報告
- ③平成二十七年収支決算報告・監査報告
- ④平成二十八年事業計画(案)
- ⑤平成二十八年予算(案)
- ⑥東北地協「宮城大会」について

編集後記

今年度のソフトボール大会は雨の中開催いたしました。段々とグラウンド状態が悪化し途中中止となり残念な結果になりました。梅雨の時期は仕方ない事なのかと思います。今年の最大の行事、東北地方集会「宮城大会」がございまして。大会にむけて一つ一つ行事が積み重なり、だんだんと本番が近づいて参りました。その記録も次に繋がるものとなるように努めていきたいと思っております。

広報編集委員 菅原 一芳

表紙写真



熊本地震支援拠託



無聖第73号 (平成28年8月5日発行)

表紙題字 宗務所長 小野崎秀通 老師
 編集 宮城県曹洞宗青年会
 発行人 北村暁秀
 事務局 宮城県利府町菅谷南熊ノ前41道安寺内
 TEL・FAX 022-356-2654(専用)
 U R L http://miya-sousei.com
 e-mail info@miya-sousei.com